

平成26年度
予算

区民生活の安全・安心のために

千代田区の人口が5万人を回復する中、その多くはマンション居住者が占め、働き盛りの世代が増加するなど、千代田区の住民構成や居住形態は変化しています。さまざまな区民ニーズに対し、取り組むべき課題は山積しており、夜間人口の約17倍に達する昼間区民や300万人以上と推定される来訪者も視野に入れた区政運営が求められています。

より中長期的な視点でこのような変化等を捉え、時機を逸することなく積極的に区民サービスの維持向上と区民の安全・安心の確保を図っていくため、平成26年度は安全・安心のさらなる確保と効果的な事業展開を図る予算として編成しました。

問合せ 財政課 ☎5211-4142



一般会計 471億6,933万円

各会計の予算規模(4面参照)

次世代育成 に関する取り組み

保育需要に応える！「保育園」「学童クラブ」待機児童ゼロに向けて

社会経済状況の変化や子育て世代の転入などにより、近年の保育需要・学童クラブへの入所希望は急激に増えています。区は、それらに応えるため、さまざまな取り組みを推進します。

需要に応える保育園等の運営

保育園等に係る経費 19億849万円

子ども支援課 ☎5211-4229

平成25年度中に定員を126人増やし、保育園の待機児童は、平成26年度当初はゼロとなる見込みです。

今後も増加する需要に応えるため、私立認可保育園・認証保育園等の運営・整備に関する経費の一部を助成し、平成26年度中に定員をさらに129人増やす予定です。

また、認証保育園を利用しやすくするため、認可保育園を利用した場合と比較して、おおむね2割安い保育料となるよう補助を行っています。

放課後の子どもの安全・健やかな活動場所

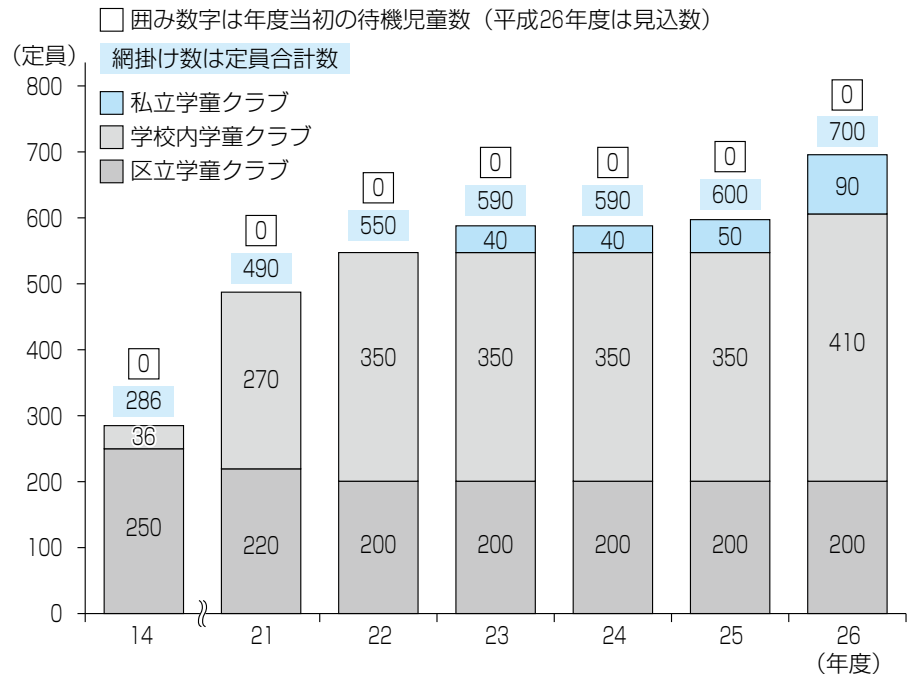
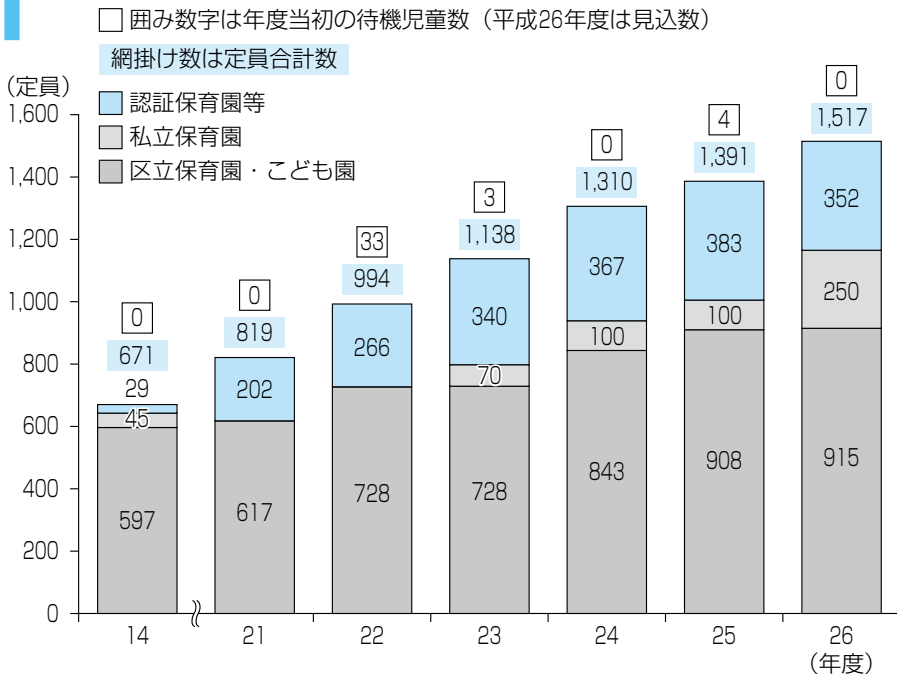
学童クラブ・放課後子どもプランに係る経費 6億8,909万円

児童・家庭支援センター ☎5298-2424

平成25年度中に定員を100人増やし、区内在住の小学1年生から3年生の児童は、必ず区内の学童クラブに入れるようになりました。

また、民設民営方式による学童クラブへの支援を行い、定員の増加とともに午後9時までの夜間延長保育を実施しています。

「ポピンズアフタースクール一番町」では、4月から一時預かり保育事業も開始しました。



次世代育成に関する取り組み(つづき)

拡充 ICT 教育の推進 **3 億 1,011 万円**

指導課 ☎ 5211 - 4283

新たに、タブレット型パソコンや電子黒板機能付きプロジェクターなどを導入するとともに、高速ブロードバンドへ接続します。これらを利用し、児童・生徒が共に教え合い学び合う協働学習を実践していきます。

拡充 国際教育の推進 **3,178 万円**

指導課 ☎ 5211 - 4283

広く国際教育を推進することを目的に、ALT(外国語指導助手<Assistant Language Teacher>)を、区立の幼稚園・こども園・保育園・小学校・中学校に派遣しています。



▲ ALT 授業の様子

平成 26 年度は、小学 3 年生・4 年生への ALT の派遣回数を増やし、ネイティブスピーカーとのコミュニケーションの機会を増やします。

独自 こども医療費助成 **2 億 3,474 万円**

子ども支援課 ☎ 5211 - 4230

保護者と子どもが共に区内在住で、健康保険に加入していることを条件に、所得制限なしに高校生相当年齢までの児童等を対象に医療費助成を行っています。入院医療費に加え通院による医療費も助成対象とした高校生等医療費助成は、東京 23 区で唯一です。

対象年齢	0 歳～ 15 歳	16 歳～ 18 歳
給付方法	現物給付 (医療証提示・医療機関窓口での支払い不要)	区内医療機関 現物給付(医療証提示) 区外医療機関 償還払い(医療機関窓口で精算後、区へ還付請求)
所得制限の有無	所得制限なし	

独自 **拡充** 子どもの予防接種 **1 億 9,482 万円**

健康推進課 ☎ 5211 - 8172

区が接種費用の助成を行っていた「子どものみずぼうそうワクチン」が、今年の 10 月から定期予防接種に加わります。区は、独自に 3 歳から就学前までの子どもに対して 1 回分助成し、予防接種を促進します。

保健福祉に関する取り組み

独自 (仮称)高齢者総合サポートセンターの整備 **6 億 2,290 万円**

高齢者施設担当課長 ☎ 5211 - 3625

元気な高齢者も、医療や介護が必要な高齢者も、それぞれが住み慣れた地域で生活が続けられるための在宅支援施設として、(仮称)高齢者総合サポートセンターを旧区役所の跡地に整備します。



外観イメージ(内堀通り側)

24 時間 365 日、相談を受け付け、具体的な対応につなげます。

また、この施設と合築する九段坂病院が「在宅ケア(医療)」機能である総合診療部門、訪問看護ステーション、訪問リハビリ、通所リハビリを設置・運営します。

開設は、平成 27 年度中の予定です。

独自 **拡充** 高齢者予防接種 **4,791 万円**

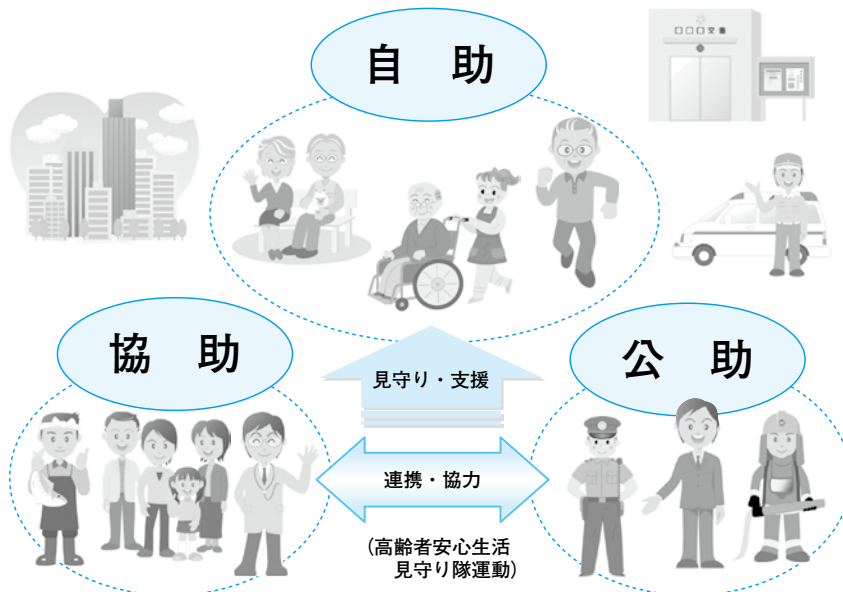
健康推進課 ☎ 5211 - 8172

区が接種費用の助成を行っていた「高齢者の肺炎球菌ワクチン」が、今年の 10 月から定期予防接種に加わります。区は、独自に 2 回まで接種できるように助成し、予防接種を促進します。

独自 高齢者見守り関連事業 **6,577 万円**

在宅支援課 ☎ 5211 - 4221

ひとり暮らし高齢者等が、住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けられるように、地域全体で高齢者を見守る「高齢者安心生活見守り隊」運動を推進するなど、地域での高齢者の見守りを支援していきます。



新規 臨時福祉給付金 **1 億 3,832 万円**

福祉総務課 ☎ 5211 - 4123

新規 子育て世帯臨時特例給付金 **7,619 万円**

子ども支援課 ☎ 5211 - 4124

4 月から消費税率が 8% に引き上げられたことに伴い、所得の低い方へ暫定的・臨時的な措置として「臨時福祉給付金」を支給します。

また、子育て世代への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図るため「子育て世帯臨時特例給付金」を支給します。

なお、両給付金とも実施は平成 26 年度限りで、併給はできません。

	臨時福祉給付金	子育て世帯臨時特例給付金
給付額	1 人 1 万円(加算措置あり)	対象児童 1 人 1 万円

拡充 社会福祉協議会 **1 億 8,280 万円**

福祉総務課 ☎ 5211 - 4209

さまざまな福祉事業を行っている社会福祉協議会の活動を支援することにより、地域福祉の増進を図っています。平成 26 年度は、新たに次の事業を実施します。

区民後見人育成事業	おもてなしボランティア養成
日本語ボランティア養成講座	地域福祉活動提案事業

拡充 障害者福祉センター運営(えみふる) **2 億 6,702 万円**

生活福祉課 ☎ 5211 - 4217

「えみふる」は、身体・知的・精神の障害および難病のある方が利用できる地域福祉の拠点です。平成 26 年度から、障害福祉サービスの給付を受けている方を対象に、個々のニーズに合った福祉サービスをコーディネートし、利用計画を作成してサービスを提供していきます。また、パラリンピック正式競技の「ボッチャ」の講習会も実施します。



▲パラリンピック正式競技「ボッチャ」

危機管理に関する取り組み

拡充 防災会議等運営(地域防災計画の見直し) 2,877万円

防災・危機管理課 ☎5211-4187

近年、都市部の河川流域での巨大な台風や集中豪雨等により、地下鉄・地下街などの地下施設では、多数の浸水被害が報告されています。浸水被害を防ぐため、地域防災計画(風水害編)の見直しを行います。



▲千代田区防災会議の様子



▲都内の地下鉄駅
(平成16年10月の台風22号で冠水)
【出典：国土交通省河川局】

独自 拡充 屋内喫煙所設置助成 1,882万円

安全生活課 ☎5211-4252

誰もが利用できる民間の屋内喫煙所を設置する場合の助成制度を積極的に推進し、喫煙者と非喫煙者が共生できる社会の実現を目指します。

区有施設の天井・昇降機耐震化工事 5億2,712万円

施設経営課 ☎5211-4160

東日本大震災の教訓を踏まえ、区有施設の天井・昇降機の耐震化工事を平成28年度まで計画的に推進していきます。

特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 12億3,000万円

建築指導課 ☎5211-4310

震災時の主要幹線道路の閉塞を防止するため「特定緊急輸送道路」の沿道建築物について、耐震診断・耐震改修等を促進していきます。

新規 客引き行為等の防止対策 100万円

安全生活課 ☎5211-4251

公共の場所における客引き行為等を防止する条例を制定し、より一層の安全で快適な地域・環境の実現に取り組みます。

取り組みにあたっては、重点地区を指定し、その地域の方々を中心とした活動を基本とし、区や警察など関係機関は、積極的に支援していきます。地域と関係機関が密接な連携を図ることで、それぞれの地域が抱える課題に対し、幅広くより実効性のある対応ができるようにしていきます。

独自 拡充 生活環境改善推進 5,657万円

安全生活課 ☎5211-4252

区は、生活環境条例に基づき、区民が生活しやすい環境をつくるため、地域の方々と一緒に合同パトロールなどの活動を行っています。平成26年度は、区内事業所等における喫煙状況や禁煙対策への取り組みなど、各方面について実態調査を行い、新たな施策を検討します。

新規 東京オリンピック・パラリンピック気運醸成事業 150万円

文化スポーツ課 ☎5211-3627

スポーツの素晴らしさを実感できるよう、オリンピック・パラリンピアン(出場選手)などによる講演会やデモンストレーション等を実施する場合に、経費の一部を助成します。

新規 文化資源の「見える化」の推進 554万円

図書・文化振興担当課長 ☎3502-3348

区の豊かな文化資源を観光資源として広く紹介できるよう、標柱・説明板等の文化財標識類、ガイドマップや案内図、ホームページやICT技術の活用等において、統一感があり、わかりやすいものに改めるとともに、多言語表記など国際化に対応していきます。

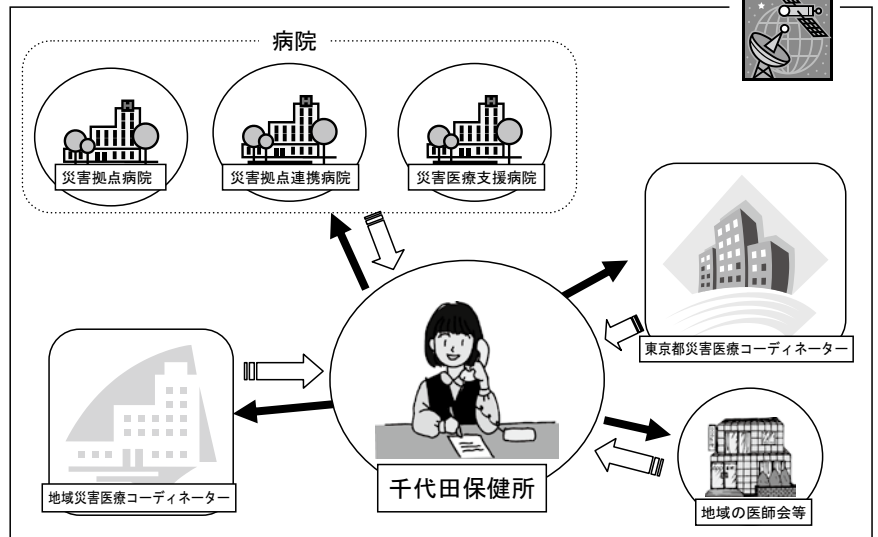
拡充 災害医療連携の推進 451万円

地域保健課 ☎5211-8163

災害時の病院と診療所・薬局との連携救護体制を構築し、大規模災害発生時の医療資源の有効活用を図っていきます。

また、区内14病院と医師会、歯科医師会、薬剤師会等と大規模災害時の各病院の役割分担や、医療救護所と病院等との連携体制等の構築を検討します。

▼通信訓練イメージ



独自 拡充 木造住宅耐震促進事業 4,060万円

建築指導課 ☎5211-4310

木造住宅の耐震診断や改修にかかる費用について、平成26年度から助成限度額を見直し、限度額を引き上げます。

平成27年度までは、年齢・世帯・所得制限に関係なく助成します。また、改修工事に比べて短期的に設置が可能な耐震シェルター・耐震ベッドについても助成します。

	限度額
耐震診断	10万円 ⇒ 15万円
耐震改修	100万円 ⇒ 120万円
耐震シェルター・耐震ベッドの設置 ※耐震改修を行わない場合。	50万円

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組み

新規 客引き行為等の防止対策 100万円

安全生活課 ☎5211-4251

公共の場所における客引き行為等を防止する条例を制定し、より一層の安全で快適な地域・環境の実現に取り組みます。

取り組みにあたっては、重点地区を指定し、その地域の方々を中心とした活動を基本とし、区や警察など関係機関は、積極的に支援していきます。地域と関係機関が密接な連携を図ることで、それぞれの地域が抱える課題に対し、幅広くより実効性のある対応ができるようにしていきます。

独自 拡充 生活環境改善推進 5,657万円

安全生活課 ☎5211-4252

区は、生活環境条例に基づき、区民が生活しやすい環境をつくるため、地域の方々と一緒に合同パトロールなどの活動を行っています。平成26年度は、区内事業所等における喫煙状況や禁煙対策への取り組みなど、各方面について実態調査を行い、新たな施策を検討します。

新規 東京オリンピック・パラリンピック気運醸成事業 150万円

文化スポーツ課 ☎5211-3627

スポーツの素晴らしさを実感できるよう、オリンピック・パラリンピアン(出場選手)などによる講演会やデモンストレーション等を実施する場合に、経費の一部を助成します。

新規 文化資源の「見える化」の推進 554万円

図書・文化振興担当課長 ☎3502-3348

区の豊かな文化資源を観光資源として広く紹介できるよう、標柱・説明板等の文化財標識類、ガイドマップや案内図、ホームページやICT技術の活用等において、統一感があり、わかりやすいものに改めるとともに、多言語表記など国際化に対応していきます。

道路の改修整備 1億2,700万円

道路公園課 ☎5211-4239

歩道改修では、段差や波打ち道路を解消して連続した平坦性を確保するためのセミフラット化(段差の縮小)とともに、保水性舗装(雨水等を吸収し水分を保つブロック舗装)によるヒートアイランド現象の緩和など、バリアフリーや環境に配慮した改修を行います。



▲中華学校前(整備前(左)・整備後(右))

電線類地中化の推進 2億803万円

歩道の設置・拡幅整備 1,350万円

道路公園課 ☎5211-4239

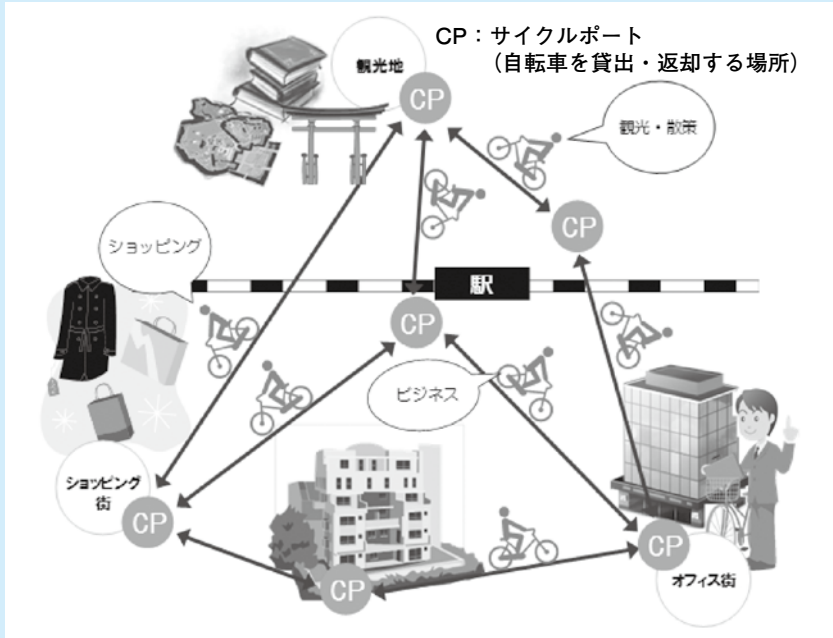
誰もが安全で快適に移動できるまちを目指して、道路のバリアフリー化を推進しています。歩道の設置や段差等に配慮した道路整備、災害時の円滑な救援・救助活動に適した歩行空間の確保、景観の向上にも寄与する電線類の地中化に引き続き取り組んでいきます。

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組み(つづき)

新規 コミュニティサイクル事業 2億27万円

環境・温暖化対策課 ☎ 5211-4255

平成26年度から3年間、コミュニティサイクルを実証事業として実施し、本格実施に向けさまざまな視点から検証・検討を行います。

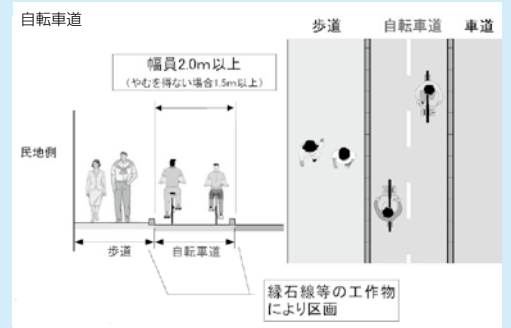


新規 自転車道の整備 9,288万円

道路公園課 ☎ 5211-4239

平成25年度に策定した「千代田区自転車利用ガイドライン」に掲げる「安全で快適な自転車利用ができる都心千代田区」を目指し、自転車道などの通行環境の整備を推進していきます。

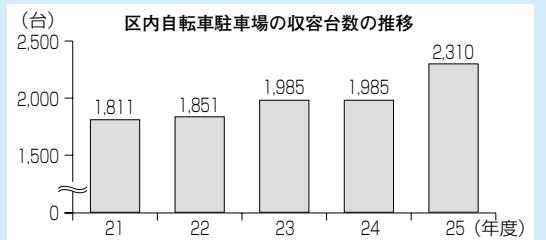
平成26年度は、区内初となる分離型の自転車道の整備を神田警察通りで着手します。



拡充 放置自転車対策 1億1,437万円

安全生活課 ☎ 5211-4345

駅周辺の路上放置自転車等をなくし、歩行者が安全で安心して通行できる空間を確保するとともに、災害時等の緊急事態においても円滑な通行ができる交通環境を目指します。



その他の主要な取り組み

独自 拡充 消費生活支援事業 1億4,158万円

区民生活課 ☎ 5211-4185

区民の消費生活支援を目的に、スタンプカード事業を実施しています。平成26年度は、消費税の税率改定を踏まえ、2年間の時限措置として対象者を「18歳未満と65歳以上の区民」から「全区民」へ拡充し実施します。

新規 省エネルギー型公園灯の整備 3,315万円

道路公園課 ☎ 5211-4239

区が管理する公園・児童遊園・広場の公園灯を、5年間かけて水銀灯からLED灯に変更し、省エネルギー化を図ります。これにより、年間約20万kWh(一般家庭約56戸分*)の省エネと約86トンのCO₂削減ができます。
*一般家庭の年間電気使用量を3,600kWhとして換算

【水銀灯とLED灯の比較】

	水銀灯	LED灯
消費電力	250W	70W
光源寿命	約12,000時間	約40,000時間
CO ₂ 排出量	430kg/年	120kg/年

新規 国際平和都市千代田区宣言20周年記念事業 998万円

国際平和・男女平等権利課 ☎ 5211-4165

平成7年3月の「国際平和都市千代田区宣言」から20年目を迎え、国際平和の実現に向けて千代田区からメッセージを発信する「(仮称)平和の集い」を行います。

また、各国大使館や開発途上国で活動するNGO団体等との連携を図り、国際交流を促進するイベントを開催します。

拡充 図書館事業運営 4億747万円

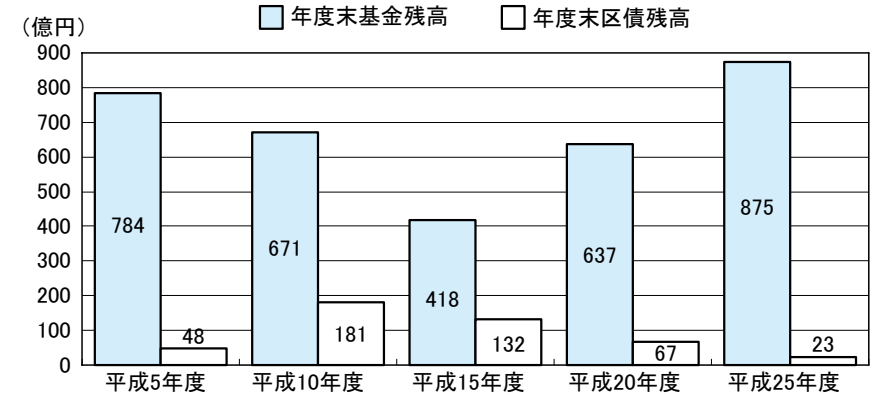
図書・文化振興担当課長 ☎ 5211-3629

電話による本の貸出予約サービスとレファレンス(図書館スタッフによる必要な資料や情報探しのお手伝い)を千代田図書館で開始し、図書館サービスの一層の向上を図ります。

また、小中高生の読書活動を推進するため、千代田図書館で、夏休み期間に開館時刻を1時間繰り上げ、午前9時から開館します。

区の貯金(基金)と借金(区債)の推移

「基金」と「区債」は、一般家庭の「貯金」や「借金」にあたります。区は、平成12年度以降、新規の区債を発行していません。次代を担う世代に負担を押しつけることのないように、今後も効率的・効果的な行財政運営に努めます。



各会計の予算規模

▼当初予算額の比較

(単位: 百万円)

	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率
一般会計	47,169	46,755	415増	0.9%増
国民健康保険事業会計	5,117	5,097	20増	0.4%増
介護保険特別会計	4,127	3,868	259増	6.7%増
後期高齢者医療特別会計	1,454	1,443	11増	0.8%増
全会計合計	57,867	57,163	705増	1.2%増

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

詳しくは「区の仕事のあらまし」で

平成26年度予算を、より詳しく、わかりやすくまとめた「平成26年度 区の仕事のあらまし」は区のホームページでご覧になれます。また、情報コーナー(区役所2階)でも4月中旬から販売(1部600円)する予定です。



区民1人あたり予算額 871,000円

生涯学習や文化、スポーツ、区債の償還に	区議会に	その他に
図書館に 28,000円 (3.2%)	13,000円 (1.4%)	11,000円 (1.2%)
		6,000円 (0.7%)

学校教育や次世代育成に 253,000円 (29.1%)	高齢者・障害者などの福祉や保健に 174,000円 (19.9%)	区の事務管理に 102,000円 (11.7%)	都市の整備や住宅に 93,000円 (10.7%)	環境対策や清掃事業、防災事業、安全・安心な生活環境に 79,000円 (9.1%)	地域振興や観光、中小企業・消費者の支援に 73,000円 (8.4%)	道路や公園の整備に 41,000円 (4.7%)
---------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------	------------------------------	--	--	-----------------------------

※1,000円未満は四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※1人あたりの金額は、予算額(一般会計)を平成26年1月1日現在の人口(54,160人)で割ったものです。